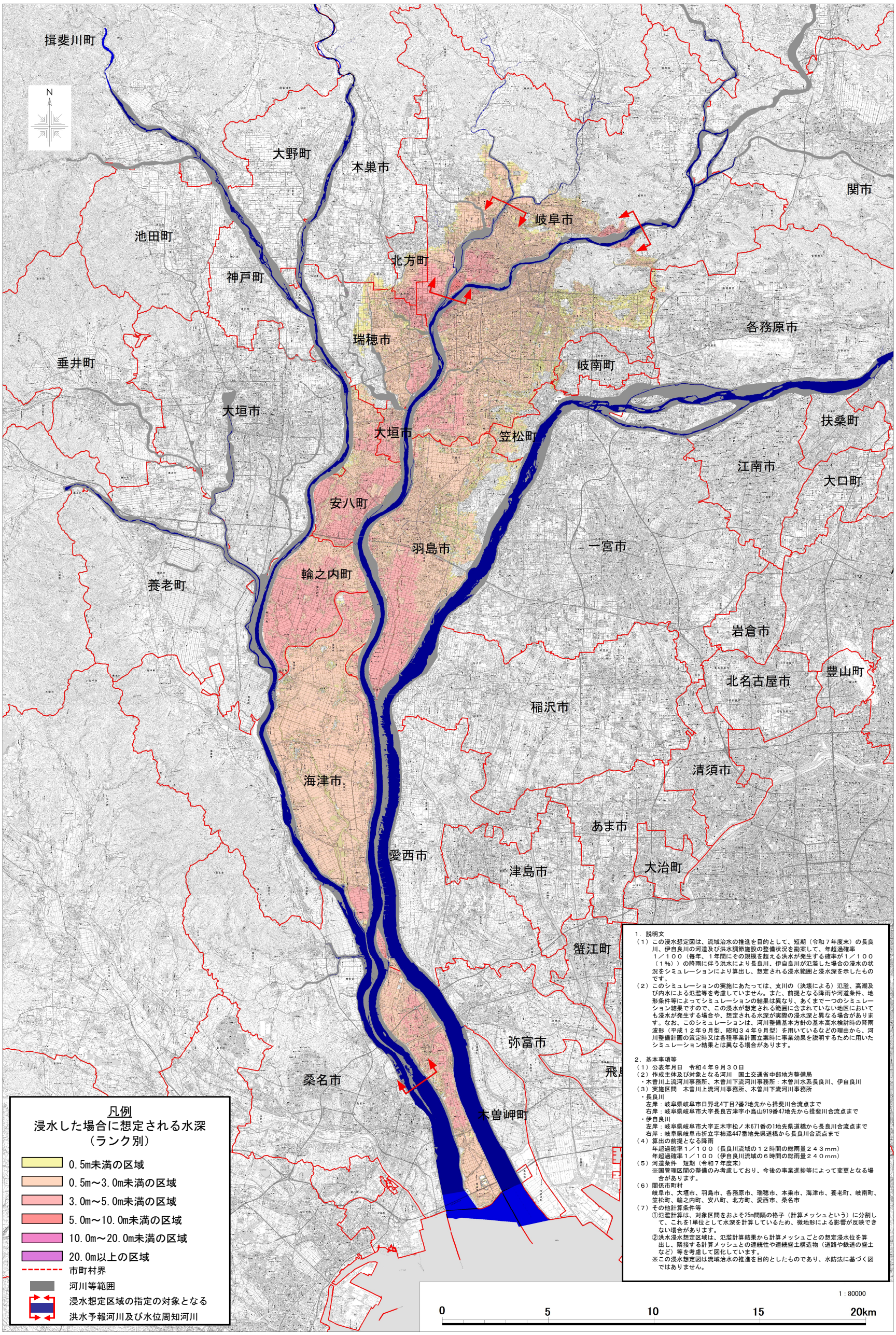
木曽川水系長良川　国管理河川の浸水想定図（１／１００規模降雨）
【短期河道】



１．説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、短期（令和７年度末）の長良川、伊自良川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１％））の降雨に伴う洪水により長良川、伊自良川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を示したものです。

（２）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（平成１２年９月型、昭和３４年９月型）を用いているなどの理由から、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和４年９月３０日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省中部地方整備局
・木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所：木曽川水系長良川、伊自良川

（３）実施区間　木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所
・長良川
左岸：岐阜県岐阜市日野北4丁目2番2地先から揖斐川合流点まで
右岸：岐阜県岐阜市大字長良古津字小島山919番47地先から揖斐川合流点まで
・伊自良川
左岸：岐阜県岐阜市大字正木字松ノ木671番の1地先県道橋から長良川合流点まで
右岸：岐阜県岐阜市折立字柿添447番地先県道橋から長良川合流点まで

（４）算出の前提となる降雨
年超過確率１／１００（長良川流域の１２時間の総雨量２４３mm）
年超過確率１／１００（伊自良川流域の６時間の総雨量２４０mm）

（５）河道条件　短期（令和７年度末）
※国管理区間の整備のみ考慮しており、今後の事業進捗等によって変更となる場合があります。

（６）関係市町村
岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、瑞穂市、本巣市、海津市、養老町、岐南町、笠松町、輪之内町、安八町、北方町、愛西市、桑名市

（７）その他計算条件等
①氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
②洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。
※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

「国土地理院の電子地形図25000『横山』『谷汲』『美濃神海』『岩佐』『美濃』『美束』『池野』『北方』『岐阜北部』『美濃関』『関ヶ原』『大垣』『岐阜西部』『岐阜』『犬山』『霊仙山』『養老』『竹鼻』『一宮』『小牧』『篠立』『駒野』『津島』『清州』『名古屋北部』『竜ヶ岳』『阿下喜』『弥富』『蟹江』『名古屋南部』『御在所山』『菰野』『桑名』『飛島』『鳴海』『伊船』『四日市北部』『四日市東部』『大野』『刈谷』を掲載」「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R4JHf168」「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」